



**[右ページ写真]**鮮やかな朱色のアクセントクロスが施されたリビング空間。オレンジ系統の色彩は、活力を与える色彩ですので、人が集まるリビングやダイニングなどに用いると、住まう人・訪れる人それぞれを明るい気分になせ、エネルギーに満ちた空間にすることができます。**[写真1]**ピンク色の壁紙が可愛い子供部屋。ピンク色は女性ホルモンと関係しており、空間に用いることで安定や穏やかな気分になせしてくれます。**[写真2]**風水住宅の寝室でよく用いられるラベンダーカラーは、安眠にうってつけの色彩です。その際の照明は電球色のランプがおすすめです。蛍光灯の青白い光では寒々しい空間になってしまうので注意が必要です。**[写真3]**寝室にスカイブルーのアクセントカラーを用いると、脳を沈静化させます。ブルー系統のアクセントを選ぶ際は、他の壁や天井にベージュや薄黄色など、温かみを感じる色とセットにして冷たさを感じさせないようにすることがポイントです。

**[写真4]**黄色は『希望』や『前向きな気持ち』を感じさせてくれる色彩です。廊下や階段ホールなど、陽の光が直接入らず暗いイメージになりがちな空間を、明るいイメージにするのに適した色彩です。



# Feng-Shui Gallery

special edition vol.57

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

## 『アクセントカラーの特徴』



**風水デザインにおいて色彩はとても重要な要素の一つです  
色彩情報が脳にどう働きかけるかを知ること  
その居室にあった色彩を選ぶことが可能です**

その部屋に適した色彩は、その色彩が脳にどのような情報を与えるかを  
考慮して選定する必要があります。

そうすることで、部屋ごとに脳のスイッチの切り替えを促し  
より快適な生活空間にすることができるよう。